

REV/SPEED

Vol. 387

3

2025 March

REV/SPEED DVD

- | | |
|-------------------|---------------------|
| GR86 / 86 / BRZ | S2000 / S660 / RX-8 |
| ZC33S / ZC32Sスイフト | ABARTH 595 / 500 |
| GRヤリス / GRカローラ | Audi TT 8S |
| FL5 / FK8シビック | HYUNDAI IONIQ 5N |
| VAB WRX STI | Honda e etc. |
| RZ34フェアレディZ | |
| R35 GT-R | |

第36回 筑波スーパーバトル
速さと操る楽しさ
 出走80台からの提案

第36回 筑波スーパーバトル
タイムアタック
車載映像特集

歴代ロードスターで周年バトル3年目の最終決戦
ROADSTER CUP in CENTRAL 2024 Rd.5/Rd.6
 ADVAN A052 & NEOVA AD09 筑波サーキット
 織戸学が新品と中古でアタック+連続周回テスト
 佐々木雅弘が筑波でテスト&アタック
GR86ターボ & LBX MORIZO RR
 阪口良平 オートポリスタイムアタック試乗レポート集
 末廣武士 岡山国際 ライトチューニングカー-実力検証

特別付録DVD
 2層203分
 副音声
 青木孝行
 マニアック
 解説

CLOSE-UP of NEW TOPICS

東京オートサロン2025





佐々木雅弘がプロデュース。運転席と助手席が専用。ベルトガイドも備わる。帯電レーザーの生地を内蔵

グランマックスは欧米人向けで、国産車にはほぼ非対応。ハイパーIIはドライカーボンシェルで重量10kg未満。FIA2021規定に準拠。GT4やラリー2を戦う日本人向け

HISTRIXの進化モデルで脱着式のヘッドレストを備える。保安基準の試験を受けたのちに市販化へと進む



ZETA IV REIMS EVAR MODEL 01/02/00はエヴァンゲリオンレーシングとのコラボで、左から初号機/2号機/零号機モデル
ジータIVレーシングミク2024Ver.は表皮カバー全体にレーシングミク専用デザインを採用



GIAS IIIホワイトレザーは汚れにくく、汚れても簡単に落とせるシリコン表皮を採用。市販化に向けて開発中



PVCレザーのヌグレは肌触りのよさとメンテナンスがラクなのが特徴で、柔らかく、良質な座り心地が期待される

BRIDE

<https://bride-jp.com/>

コラボシートに競技用や新素材とマルチな展開で需要に応える

初 音ミクGTプロジェクトを手掛けるグッドスマイルカンパニーとのコラボ第三弾 ジータIVレーシングミク 2024 Ver.は期間限定生産で、受注期間は2025年3月31日まで。エヴァンゲリオンレーシングとのコラボモデルZETA IV REIMS EVAR MODEL 01/02/00は1月10日発売で、作中に登場する各機体をモチーフにデザイン。GR TOYOTA Gazoo Racing×GROW Design AERO STABILIZING SPORT SEATはedirb 172ベースのOEMだ。FIA1990規格のGRAMAXはスーパーワイドモデル。FIA2021規格のHIPER IIはGT4やラリー2などを照準にした競技専用モデルだ。HISTRIX IIはヘッドレストを備えたローバックモデルで、シリコン生地のGIAS IIIホワイトレザーやヌグレ生地のERGOSTERも展示。GIAS IIIホワイトレザーとヌグレ採用のERGOSTERは98ページもチェック。

Kansai SERVICE

<https://www.kansaisv.co.jp/>

5台のKansai流 最新ストリートチューン

F L5はタイプR以上のタイプRを目指した。パワー系は吸排気+Kansai ECUチューンで最高出力410ps。サスはHKSのHIPERMAX Sで、L.S.D.はCUSCO type-RS spec Fを選択。アバルト595はECUチューンのパワー&トルクを使いきれぬフットワークチューンがポイントで、Kansai L.S.D.が決め手。GRヤリスは8速AT車。吸排気系やサスをテスト中。R35 GT-Rは24年式で、ECUチューンなどにより、ハイパフォーマンスを引き出している。タイヤ&ホイール



は21インチだ。GR86はHKSのGT III-RSターボキットを搭載。



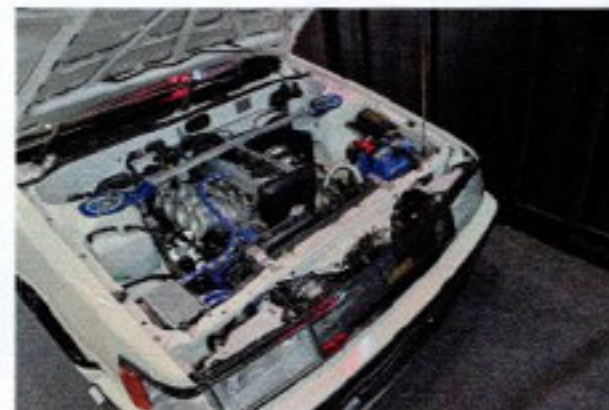
FUJITSUBO

<https://www.fujitsubo.co.jp/>

新型から旧車までエキゾーストシステムがますます充実



右から販売がスタートしたGR86/BRZ(ZD8)用エキゾーストパフォーマンスユニット、試作のマイナー後GRヤリス用AR-M、試作GRカローラ用軽量右シングル出し



AE86用EPUエキゾーストパフォーマンスユニット。現行車用と同様にエキマニ、キャタライザー、マフラーまでがコンプリートになる。RX3コンセプトモデルも公開された

G R86/BRZ(ZD8)用EPUエキゾーストパフォーマンスユニットがリリース開始。チューナーの協力も得て検証し、S耐用のノウハウも盛り込んで市販化に至った。ノーマルECUでも出力が上がり、固有の中間域でのトルクの谷もほぼ消せる。試作品ではGRカローラ用の右シングル出しマフラーが斬新。進化型GRヤリス用のAR-Mも新規に開発中。そして、注目はAE86用EPUエキゾーストパフォーマンスユニット。エキマニからマフラーまで、現行車と構成は同じ最新システムだ。ほかにはエンジンルームの軽量化とドレスアップが併せてできるチタン製フードサポートが対応車種を拡大。



BRIDEが新素材活用に着手

話題の真相

シートメーカーBRIDEの東京オートサロン2025参考出品に注目!

「GIASⅢホワイトレザー」「ヌグレ採用ERGOSTER」「NEW SLIDER」がそれぞれ現在、製品化のための開発を推し進めている。より魅力的なシートやシートレールの出現に期待!



ヌグレは肌触りがよい素材らしく身体を包み込む。もうひとつの参考出品はこちらのエルゴスターで、ヌバックという生地に近いアキレス製のヌグレと呼ばれるPVCレザーを表皮に纏ったものだ。ヌグレの特徴は肌触りがよいことで、プロテインレザーなどに比べると柔軟で、優しく身体を包み込んでくれる。PVCレザーなので、メンテナンスもラクとのことだった。こちらもブリッドの上位モデルという位置づけになり、エディルプとの間を埋めるカタチになるだろう。

ヌグレ採用ERGOSTER



「BRIDE PREMIUM」的なBRIDEの上位モデルとして位置づけられるであろうヌグレ採用シリーズは当然、BRIDEのロゴを備える肌触りがよく、柔軟で、身体を優しく包み込んでくれるヌグレは汚れが拭き取りやすく、メンテナンスもラク。市販化に向けて進行中

リーズとして、ほかのシートへの展開も大いにあるだろう。ちなみに、多くの来場者の注目を集めた、シヨルターなどに配されるマジョーラカラーだが、こちらは見送られるかも。それ以外の部分のシックな色合いは第二世代のGT-Rなどに似合いそう。



汚れにくく汚れても簡単に落とせる白

鮮やかな白を纏ったガイアスⅢはシリコンと呼ばれるレザー素材を表皮に使ったもので、汚れがつきにくく、汚れても簡単に落とせるのが特徴。「白のシートは憧れだが、汚れが目立って……」という悩みを解消してくれそうだが、シート表皮の全面に用いると、コストの心配もある。また、単調な色合いで、見た目のアクセントがなくなってしまうので、東京オートサロン2025に展示した参考出品モデルは、部分的に異なる素材を用いていた。

しかし、そこで多くの人が座った結果、判明したのは、ほかの素



GIASⅢホワイトレザー



ホワイト刺繍でBRIDEのロゴが刻まれる。「BRIDE PREMIUM」的なポジショニングで、edirbとの間に位置することになる!



シリコンを用いた部分は東京オートサロン2025で相当数の人が座ったにも関わらずキレイなままだった。素材の組み合わせを検討中

材の部分が汚れてしまうことだった。ちなみに、シリコンの部分は汚れていない。よって、現在は市販化に向けて素材の組み合わせを検討中。「汚れに強い白シート」実現の暁には、セミバケットに加え、フルバケットタイプもラインアップされることになるだろう。



15ヵ月から12歳頃まで使える チャイルド・ジュニアシート Konforte Racing

税込み価格5万5000円

BRIDEにはこれまでもチャイルドシートのラインアップが存在したが、このKonforte Racingでは対象年齢が15ヵ月から12歳頃までと、大幅に広がられている。大きくなったら4点式シートベルトを外し、シートバックを上方に伸ばして、3点式の純正シートベルトを掛けることで対応する。レーシングシートをモデルにしたモノコックボディのフォルムゆえに高いホールド性を実現。「リーマン」(ナカバヤシ株式会社)との共同開発で2月3日より発売される。



NEW SLIDER

よりスムーズにスライド市販化に向けて開発中

シートレールも絶えず進化を遂げているブリッドの最新トピックといえばシートレールアップデーターキットで、装着により、剛性が高まって、シートホルダーのインフォメーションに効果をもたらすことは前号でも紹介したとおり。東京オートサロン2025でも展示されていたが、隣に新しいスライダーが置かれていたことを、

我々は見逃さなかった。

同社では現状に満足することなく、スライダーの新しい素材を求めてきたが、候補に挙がったのがこちらというわけ。

剛性が高く、ガタが少なく、スライドがスムーズとのことで、シートレールに使えば、大きなアドバンテージになるだろう。もっとも、サイズやレールとのフィットリングなど、詰めなければいけない課題は山積みで、市販化には時間が掛かりそう。

EVANGELION RACINGのブリッドジータIV、誕生。

BRIDE® EVAR

—ジータIVエヴァレーシング—



フォルム、シェル剛性を格段に進化させたフルバケットシートのスタンダードモデル、ZETAIVをベースに初号機カラーのシートトリムでフルカバードした上質なスポーティングシート、ジータIVエヴァンゲリオン初号機モデル。

ZETA IV REIMS EVAR MODEL 01

- ベースモデル：ZETAIV ●FRP製シルバーシェル(GFRP)
- 初号機カラー ●燃燃生地 ●保安基準適合モデル
- FIA認証ラベル無し ●品番：HAEV01 ●日本製
- 着座センサー搭載(座面部)
- ※車種によっては、対応できない場合があります。
- 重量：約8.5kg(参考数値)



NEW



フォルム、シェル剛性を格段に進化させたフルバケットシートのスタンダードモデル、ZETAIVをベースに2号機カラーのシートトリムでフルカバードした上質なスポーティングシート、ジータIVエヴァンゲリオン2号機モデル。

ZETA IV REIMS EVAR MODEL 02

- ベースモデル：ZETAIV
- FRP製シルバーシェル(GFRP)
- 2号機カラー
- 燃燃生地 ●保安基準適合モデル
- FIA認証ラベル無し
- 品番：HAEV02
- 日本製
- 着座センサー搭載(座面部)
- ※車種によっては、対応できない場合があります。
- 重量：約8.5kg(参考数値)



NEW



フォルム、シェル剛性を格段に進化させたフルバケットシートのスタンダードモデル、ZETAIVをベースに零号機カラーのシートトリムでフルカバードした上質なスポーティングシート、ジータIVエヴァンゲリオン零号機モデル。

ZETA IV REIMS EVAR MODEL 00

- ベースモデル：ZETAIV ●FRP製シルバーシェル(GFRP)
- 零号機カラー ●燃燃生地 ●保安基準適合モデル
- FIA認証ラベル無し ●品番：HAEV00 ●日本製
- 着座センサー搭載(座面部)
- ※車種によっては、対応できない場合があります。
- 重量：約8.5kg(参考数値)



NEW

B
BRIDE SUPER SEAT
BRIDE CO., LTD.
ブリッド株式会社

BRIDE®は、ブリッド株式会社の登録商標です。
〒476-0015 愛知県東海市東海町1丁目11番1号
TEL.(052)689-2611 FAX.(052)689-2612
※掲載製品の仕様・デザイン・価格等の変更及び、販売終了を予告なく行う場合がありますので、予めご了承ください。

[エヴァンゲリオンレーシング]
エヴァンゲリオンレーシングとは「エヴァンゲリオン新劇場版」との 프로모ーションタイアップにより結成されたレーシングチーム。エヴァンゲリオン初号機カラーのレーシングマシンでレース活動を続けている。
ホームページ eva-racing.com

ブリッド&エディルの最新情報は、こちら!
<http://bride-jp.com>

